

2024年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|---|----------------------------|--|------------------|---|-----|--------|---------|
| 330331071 | 子育て支援 Childcare Support | 黒谷万美子 | | | 1 | 選択 | 3前期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| この科目はDP2.3に記載されている子どもの生活学科の教育目標である人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成する科目として設定されている。保育士の業務には、子どもの日常的保育に加え、保護者や地域の子育て家庭に対する支援を行うことが含まれる。従って子育て家庭の現状やニーズを把握し、保護者自ら子育てする実践力向上を目指した支援の具体的展開について理解を深める。保健師として行政・企業・健康保険組合に20年間勤務し、健康教育・保健指導等行ってきた。家族支援を含めた健康支援活動の経験を生かした講義(演習・実習)を行う。 | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① 子育て支援の現状について学びするとともに理念と役割について学ぶ ② 子どもの権利擁護について学ぶ ③ 保育者に求められる専門性について学ぶ ④ 子育て支援の展開過程について学ぶ ⑤ 地域資源の活用と関係機関との連携について学ぶ | | | | ① 子育て支援の現状について理解するとともに理念と役割について理解する ② 子どもの権利擁護について理解し重要性について説明することができる ③ 保育者に求められる専門性について理解し具体的な支援方法について発表することができる ④ 子育て支援の展開過程について理解し具体的な支援について提案することができる ⑤ 地域資源の活用と関係機関との連携について理解し諸問題に対する解決策や対処方法について提案することができる | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 自分の役割を明確にして課題に取り組むことができる | | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | | |
| | 実行力 | それぞれの教育テーマについて知識・技術を確認し、グループごとに発表することができる | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | グループの課題を明らかにしグループワークを進めることができる | | | | | |
| | 計画力 | | | | | | |
| | 創造力 | 発表に向けて、自分達のテーマに合わせた効果的な媒体作成をおこなうことができる | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 教育計画に基づき分かりやすく発表するとともに、対象を理解して伝えることができる | | | | | |
| | 傾聴力 | グループワークや発表時、内容確認や質問を行い正確に理解するとともに話しやすい状況をつくることことができる | | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | | |
| | 規律性 | グループワークにおいてグループのルールや約束を守りメンバーのサポートができる | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| テキスト：後日提示 参考資料：幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領／その他随時、授業課題と資料を配布する。 参考文献：子どもの保健 | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| 多科目との関連：「子育て支援」は学科専門科目「保育の内容・方法に関する科目」として設定されており、「子どもの健康Ⅰ」や乳児保育で獲得した知識・技術を活用する。その後に履修する「地域と子育て支援」の基礎となる科目である。 資格との関連：保育士 | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| ・授業中の私語は慎み積極的に授業に参加する ・配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめ、内容を整理しておく | | | | ・積極的なグループワーク、ディスカッションを行うことによりスムーズな発表ができるよう準備する。 ・子育て支援の学習内容を確認するとともに新聞等での子育て問題に関心を持つ。 <注意>出席・授業態度では、3回遅刻で1回欠席。10分以上の遅刻や早退、居眠りは欠席扱い、更に5回欠席で-10点とする(1回につき-2点)。私語が多く再三注意を受けるなど受講態度が良くないときには、その授業の出席を認めない場合がある。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | |
|-----------------------|--------------|-------|------|---|---|
| 学修成果 | 学期末試験 | 0 | ① | | |
| | | | ② | | |
| | | | ③ | | |
| | | | ④ | | |
| | | | ⑤ | | |
| | 小テスト | 0 | ① | | |
| | | | ② | | |
| | | | ③ | | |
| | | | ④ | | |
| | | | ⑤ | | |
| | レポート | 50 | ① | | ○問題を適切にとらえて、それに対し自らの意見を主張できているか。 ○重要なポイントを押さえているか。 ・子育て支援の現状と課題について ・保育者に求められる専門性について ・子育て支援の展開過程と具体的援助方法について ・地域資源の活用と関係機関との連携についてなど ○保育士・幼稚園教諭として保育・教育現場での課題について具体的な対応を評価する。様々な問題に対して適切で具体的な対応を記述できていることが求められる。到達レベルの基準としてS:保育・教育現場での諸問題について具体的な対応解決ができる。A:保育・教育現場での課題への対応について述べるができる。B:保育・教育現場での課題について述べる。C:理論や知識・技術について理解している。F:0のレベルに達していない。 |
| | | | ② | | |
| | | | ③ | | |
| | | | ④ | | |
| | | | ⑤ | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | 40 | ① | ✓ | 事例検討をグループワークで実施し発表を行う。積極的なグループワーク、ディスカッション参加と発表について社会人基礎力をいかに発揮するかを評価する。グループワーク後に自身の積極的なグループ活動の参加や発表等についてレポートによる自己評価を行い、グループワークの気づきを確認する。 | |
| | | ② | ✓ | 知識の獲得(子育て支援の現状について理解するとともに理念と役割について理解する):50% | |
| | | ③ | ✓ | 知識の活用(保育者に求められる専門性について理解し具体的な支援方法について発表する):30% | |
| | | ④ | ✓ | 課題解決(地域資源の活用と関係機関との連携について理解し諸問題に対する解決策や対処方法について提案する):20% | |
| | | ⑤ | ✓ | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力(学修態度) | 10 | ① | ✓ | (主体性)自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる。 (実行力)課題に向けて積極的に取り組み、粘り強く取り組み続けることができる。 (課題発見力)講義での提示を受け、今、何が課題であるのか、またその解決に向けて現段階でなすべきことを的確に把握することができる。 (創造力)子どもたちと接するにあたり、課題に向けてどのように取り組んでいくか、創意工夫した解決策を考察することができる。 (発信力)事例や客観的データ等を用いて、具体的にわかり易く課題解決の方向性を発信することができる。 |
| | | | ② | ✓ | (傾聴力)内容の確認や質問等を行いながら、講義での提示を正確に理解することができる。 (規律性)受講態度(学習意欲欠如、私語、課題やその他の提出物の未提出、など)が見られる場合は減点する。 |
| | | | ③ | ✓ | |
| | | | ④ | ✓ | |
| | | | ⑤ | ✓ | |
| 総合評価割合 | | 100 | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|--|---|
| <p>達成目標①から⑤について実践できるとともに筆記試験においての知識、レポートでの記述内容、授業での積極的発言と課題発表の全て満足できる評価が得られる。つまり、子育て支援をめぐる現状と課題及び理念と役割について理解し、子育て支援の展開過程と適切な具体的援助方法、留意点について理解できていることが基準となる(総合評価80点以上90点未満)。A以上の能力を有しているもの(総合評価90点以上)をSとする。</p> | <p>達成目標①から⑤について実践できるとともに筆記試験においての知識、レポートでの記述内容、授業での積極的発言と課題発表のある程度満足できる評価が得られる。つまり、子育て支援をめぐる現状と課題及び理念・役割について理解し、子育て支援の援助方法が分かることが基準となる。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|--|--|---|-------|---|
| 1 | オリエンテーション 子育て支援では、何を学ぶか | ・講義・DVD視聴・ | 子育て支援の重要性について自分の意見を述べられる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第1講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 2 | 子育て支援の社会的背景と意義 ・子育て支援とソーシャルワーク | ・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・グループワーク | 援助を行ううえで不可欠な子育て支援の社会的背景と意義について理解することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第2講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 3 | 子どもの権利擁護 ・子どもの権利条約と権利擁護 | ・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・レポート記述・グループワーク | 子どもの権利について自分の考えを述べるができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第3講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 4 | 保育者に求められる専門性 ・保育者に求められる倫理 ・子育て支援に求められる態度・知識・技術 | ・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・レポート記述(google classroom)・グループワーク | 援助を行ううえで不可欠な基本的理念・倫理について理解することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第4講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 5 | 子育て支援の展開過程① ・保育現場における子育て支援の内容 | ・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・小テスト(google forms)を利用しフィードバック)・グループワーク | 援助を行ううえで不可欠な子育て支援の内容について理解することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第5講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 6 | 子育て支援の展開過程② ・子育て支援の計画・評価・記録 ・展開上の留意点 | ・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・グループワーク | 子育て支援の計画・評価・記録や展開上の留意点について理解することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第6講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 7 | 子育て支援における関係機関との連携 | ・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・レポート記述(google classroom)・グループワーク | 子育て支援における関係機関との連携について理解することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第7講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 8 | 子育て支援の実際① ・保育所における子育て支援を考える | ・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・グループワーク | グループワークにより保育所における子育て支援について記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第8講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|--------------------------------------|---|---|--|-------|---|
| 9 | 子育て支援の実際② ・保育所における子育て支援を考える | ・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・レポート記述・グループワーク | グループワークにより保育所における子育て支援について記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第9講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 10 | 子育て支援の実際③ ・問題・課題のある保護者への支援を考える | ・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・小テスト(googles forms)を利用しフィードバック)・グループワーク | グループワークにより問題・課題のある保護者への支援について記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第10講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 11 | 子育て支援の実際④ ・問題・課題のある保護者への支援を考える | ・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・グループワーク | グループワークにより問題・課題のある保護者への子育て支援について記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第11講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 12 | 子育て支援の実際⑤ ・障害のある子どもを持つ保護者への支援を考える | ・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・グループワーク | グループワークにより障害のある子どもを持つ保護者への子育て支援について記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第12講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 13 | 子ども虐待の予防と対応について | ・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・レポート記述(googles classroom)・グループワーク | グループワークにより虐待の予防と対応について記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第13講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 14 | 要保護児童等の家庭に対する支援について | ・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・グループワーク・確認レポート | グループワークにより要保護児童に対する子育て支援について記述することができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第14講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 15 | 多様な支援ニーズを抱える子育て支援家庭の理解について | オンデマンド配信 | 今後の課題と対策について理解し自分の考えを述べることができる。相手の話を整理して聞き、疑問点を質問することができる。 | 予習：教科書、ワークシートにて確認60分(第15講) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する60分 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力